

## からだを動かす為には、まず心を動かす事！！

身体を動かそう！！外で遊ぼう！！と言うだけでは子どもは動きません。

でも、遊びの感動体験があれば、自然と自分から外に向かうようになります。

例えば、室内用だと思われがちな跳び箱を外遊びで使ってみる。

しかも、跳ぶのではなく、高い山に見立ててよじ登ってみよう！！と外に高い跳び箱をポンと置いておいてみると、今まで自分には関係のない用具だと思っていた低年齢の子ども達も『おお！こんな遊び方があったのか！！』と群がるように集まってきます。

そのうち、飛び箱は年齢に関わらず楽しく遊べる人気の用具になります。

運動をしていると、つい技術の指導や遊びの形そのものに目がいきがちですが、園では教えたり促すだけではなく、心を動かす事を心がけています。遊びや運動の感動はいろいろな所に散りばめられています。

身近な、ちょっとした発見や工夫によって感動を知った子どもは、繰り返し遊び、さらに新しい感動を求めて考え、動くようになります。

園でよく行っている感動体験のコツを一つご紹介します。

それは『チャンピオン体験』です。

例えば、みんなで遊んでいたら、足の速い子ども、よく気が付く子ども、工夫して遊んでいる子ども、お友達を助けてあげられる子ども、色々です。

1人1人の良い所を見つけ、『すごいね！』と褒めてチャンピオンにしてあげるので。

自分がチャンピオンだ。という感動や達成感が、子どもの心を動かし、自己肯定感につながり、身体を動かす原動力となるのです。